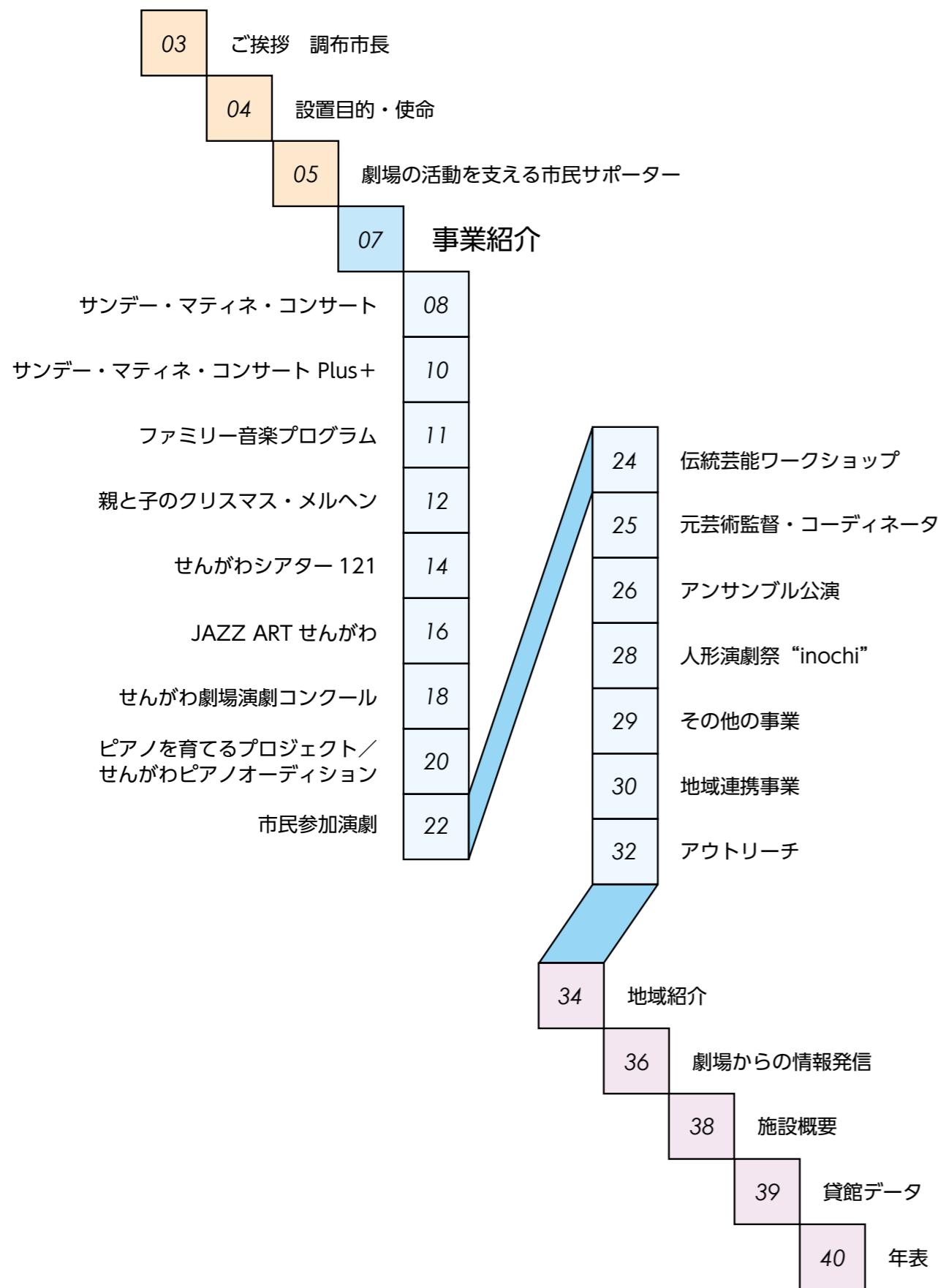


10  
th

調布市せんがわ劇場  
開館 10 周年記念誌

# もくじ



## ご挨拶



調布市長  
長友 貴樹

調布市せんがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点であり、様々な事業を通して、芸術文化を身近に感じる機会を市民に提供しております。平成20年4月に開館して以来、少しずつ形を変えながらも、市民のための、地域密着型の劇場として事業を実施し、平成30年4月に10周年を迎えることができました。

本記念誌は、その軌跡をたどり、劇場が歩んできた10年を振り返るとともに、様々な事業の内容を楽しみながらお読みいただき、せんがわ劇場にお越しになられたことのない方にも興味をもっていただけるように作成いたしました。

是非、皆様には、劇場の魅力を感じていただくとともに、劇場に足をお運びいただき、舞台芸術の創造にお力添えくださいますようお願い申し上げます。

結びに、本記念誌の発行に当たりまして、各事業の関係者の皆様、市民サポーターの皆様をはじめ、ご協力くださいました皆様にお礼申し上げます。

## 設置目的

舞台芸術を通じ、新たな地域文化発信基地

仙川地域のにぎわいと活性化への寄与

## せんがわ劇場の使命

せんがわ劇場は、「市民・地域の文化が育まれ、まちの誇りとなる劇場」という将来の姿の実現に向けて、次の4つの使命のもと事業を展開していきます。

### 市民・地域と共に地域の芸術文化ネットワークを創造します

地域密着型施設として開館したせんがわ劇場は、開館からこれまで、様々な地域の機関と連携し、事業を展開してきました。今後、めざす将来の姿を実現していくうえで、劇場と地域のネットワークを強化していく活動が求められます。そこで、事業以外にも様々な劇場の活動を通じ、文教施設・商店街など仙川地域を軸とした市内の社会・文化資源を結びつける芸術文化のネットワークを創造することを使命の一つとします。

### 舞台芸術を通じ、次世代を担う子どもたちや舞台芸術活動者を豊かに育てます

10年間の長期展望のもとせんがわ劇場のあるまちづくりを推進し、まちの誇りとなる劇場をめざすには、10年後を担う人材をせんがわ劇場が育っていくことが求められます。そこで、めざす将来の姿の実現に向け、次世代を担う地域の子どもたちが小さい頃から劇場に親しむ取組や、舞台芸術活動者を豊かに育てることを使命の一つとします。

### 舞台芸術を楽しむ市民の裾野を広げるプログラムを提供します

せんがわ劇場があることを知っていても来場する機会がない、自分が利用する施設という実感がない等、せんがわ劇場は多くの市民にとってまだ身近にはなっていないという状況があります。その一方で、繰り返しせんがわ劇場を訪れる人も増えてきています。今後は更に、舞台芸術を楽しむ市民の裾野を広げる魅力的なプログラムを提供することを使命の一つとします。

### 市民の舞台芸術活動を活性化する、利用者の視点を大切にした施設貸出事業を行います

めざす将来の姿の実現において、市民に活動の場を提供する施設貸出事業は大きな役割を果たします。施設貸出事業は市民に活動の場を提供するだけでなく、施設利用者による公演によって、舞台芸術に親しむ機会を市民に提供することができます。そこで、公平さは保ちつつ、施設を管理する側の発想でなく、利用者の視点を大切にした施設貸出事業を行うことを使命の一つとします。

# 劇場の活動を支える市民センター

せんがわ劇場の活動をさまざまな面から支え、劇場と地域との架け橋になっているのが、「調布市せんがわ劇場市民センター（開館当初の名称はせんがわ劇場アンサンブル）」のみなさんです。高校生以上による登録制で、2018年度は約40名の市民センターが活動しています。劇場の開館時から登録しているベテランから、劇場のイベントに参加するうちに運営側にまわりたいとセンターになった現役高校生まで。幅広い年代の市民センターたちが劇場と仙川のまちを盛り上げています。

### 来場者のお迎え



公演の受付やチケットもぎり、会場案内など、来場者のお迎えでも劇場スタッフと一緒に市民センターが活躍しています。

### ロビー展示



劇場ロビーでおこなわれる展示の準備・設営にも市民センターの協力が。

### 舞台衣装制作



せんがわ劇場が制作する演劇公演の衣装は、市民センターの衣装制作チームの力作。次の公演では、俳優たちの演技を引き立てる衣装にもご注目ください！

## おらほせんがわ夏まつり



地域の夏まつりのプログラムとしてせんがわ劇場でおこなわれる「RPG (ロールプレイング劇場)」は、市民サポーターが企画から出演まで手がける人気イベント。参加者たちは勇者となって、市民サポーター扮する登場人物たちとのやりとりを楽しみながら劇場内を探索します。

## ケータリング



公演の出演者やスタッフのためのケータリングもおこなっています。JAZZ ART せんがわなどの大掛かりなイベントを、食の面からも支えています。

## ポスティング・チラシ配り



集客のためのポスティング準備にも市民サポーターの力が欠かせません。



JAZZ ART せんがわでは、まちなかのイベントでのチラシ配りも。

## クッション



小さいおさんが舞台を見やすいようにという心遣いから、市民サポーターが制作したカラフルなクッション。側面には、せんがわ劇場のロゴも。

## 情報誌「121PRESS」



市民サポーターが独自の目線から劇場の様子を伝える情報誌「121PRESS」。編集もレイアウトもすべて市民サポーターが担っています。

## マナー研修



市民サポーターのためのマナー研修もおこなっています。



# 10<sup>th</sup>

## 事業紹介



vol.204より ©青二才晃(市民サポーター)

## サンデー・マティネ・コンサート

大人も、子どもも、みんなで楽しむ  
日曜午前の上質コンサート。

「サンマチ」の愛称で親しまれている、日曜午前に開かれる約45分間の無料コンサートです。劇場が開館した2008年4月以来、毎月1~2回、クラシックや民族音楽、ジャズ、現代音楽など幅広いジャンルの演奏がおこなわれ、2018年7月には200回を迎えました。

特徴は、本格的なプログラム内容でありながら、年齢等の制限がなく、広くどなたでも楽しめること。プロオーケストラの首席ソリストや世界で活躍する音楽家など、そうそう錚々たる顔ぶれが出演し、大人と子どもが一緒に上質な演奏に親しむ国内でも珍しい場となっています。

### DATA

開始時期：2008年4月

開催回数：193回

のべ出演者数：789名

のべ観客数：20,381名

関わった市民サポーター数：369名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです



- vol.200より。公募で集まった200回記念市民合唱。100回に続き、記念の回を共に祝いました。
- vol.78より。音楽と演劇のコラボレーションが好評だった作曲家シリーズ第3弾「リスト物語」
- vol.5より。主催演劇公演の期間中は、舞台セットの中でコンサートが行われるため、いつもと雰囲気が変わります。
- 毎年4月のサンマチ初回は、シーズンスタートを祝して、駅前でファンファーレを行います。

### 終演後の演奏者インタビューより

2回目の出演ですが、ますますお客様と私たち演奏者の距離が近くなっていて、毎回このコンサートを楽しみに来ていらっしゃるというのがとても伝わりました。アートの担い手と繋ぎ手、そしてお客様が密着しているコンサートになっているのだなと思いました。(vol.182)

日曜日のお昼前の時間に皆さんがコンサートに足を運び、音楽を聴いて過ごすことが生活の一部になっているのだと感じ、とても嬉しかったです。(vol.158)

お客様が慣れていて、解説をすると「うんうん」とうなずいてくださるので、とても話しやすかったです。(vol.179)

### 来場者アンケートより

音楽にあまり詳しくない、でも興味がある!!このような気軽に楽しめる機会があると、とてもうれしいです。しかも無料で、時間もちょうど良く、ぜひ今後とも続けていただきたいです。(2018)

小さい子がきけるコンサートはなかなかないので、本当に楽しみにしているイベントです。ありがとうございました。(2017)



vol.7 では、パリ管弦楽団首席フルート奏者ヴァンサン・リュカと東井美佳（ピアノ）の共演。

## サンデー・マティネ・コンサートPlus+

本格的な演奏をじっくり味わう。  
もうひとつの「サンマチ」。

### DATA

開始時期：2012年11月

開催回数：15回

のべ出演者数：48名

のべ観客数：1,690名

関わった市民サポーター数：30名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

人気のサンマチ（サンデー・マティネ・コンサート）の姉妹企画として、落ち着いてコンサートを楽しみたいという市民の声に応えて生まれたのが、サンデー・マティネ・コンサート Plus+（プラス）です。

年齢制限のないサンマチに対して、プラスは年2回の開催で、未就学児の入場は不可。ワンコイン500円の入場料で、コンサート時間は70～90分とサンマチの約2倍です。気軽に参加できるサンマチのカジュアルさはそのままに、じっくり落ち着いて本格的なコンサートをお楽しみいただいています。



「子どものための演奏会入門～はじめてのオペラ～」より。質問コーナーでは、いつもたくさんの手が上がります。

## ファミリー音楽プログラム

音楽をもっと身近に。  
親子で楽しむ音楽プログラム。

### DATA

開始時期：2011年6月

開催回数：20回

のべ出演者数：145名

のべ観客数：1,339名

関わった市民サポーター数：17名

事業種類：次世代を担う子どもたち  
育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

せんがわ劇場では、コンサートばかりでなく、音楽を通して家族のコミュニケーションを深めるプログラムもおこなっています。

なかでも人気なのが、2011年から毎年開催している「子どものための演奏会入門コンサート」。アンコールや暗転といったコンサートの流れや拍手のタイミングなど、コンサートを楽しむためのマナーを実際の演奏会をとおして親子で学ぶことができます。

お土産のハンドブックには、家に帰ってから親子で音源を聴いたりしながら学びを深められるミニ情報も。



2011年「クリスマス・キャロル」原作／チャールズ・ディケンズ、翻訳／松本永実子、脚色・演出／菊池准

## 親と子のクリスマス・メルヘン

せんがわ劇場、冬の風物詩。  
クリスマスには親子で演劇を。

せんがわ劇場が制作する演劇公演のなかでも、とりわけ市民から愛されているシリーズ。劇場が開館した2008年以来、毎年クリスマスシーズンに大人と子どもが一緒に楽しめる公演をおこなっています。2013年からは、劇場が主催する演劇コンクールで入賞した演劇人たちが、演出や振付、出演などさまざまな形で公演に携わるようになり、市民が演劇に親しむ機会だけでなく、若手演劇人の育成の場にもなっています。また、終演後のサンタクロースから子どもたちへのプレゼントも恒例となっています。

### DATA

開始時期：2008年12月

開催回数：10回

のべ参加者数：485名

のべ観客数：7,939名

関わった市民サポーター数：238名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです



- 終演後にはサンタクロースが登場、子どもたちにプレゼントを渡します。
  - 2017年「シンデレラ」振付・構成・演出／スズキ拓朗
  - 2010年「星の王子さま」原作／サン・テグジュペリ、上演台本／調布市せんがわ劇場アンサンブル、演出／ペーター・ゲスター
  - ロビーもクリスマスマードを高める飾りつけをしています。
- 左下以外：©青二才晃（市民サポーター）

仲村 祐妃子（衣裳デザイナー）

クリスマス・メルヘン以外も、衣裳デザイナーとして多数参加。市民サポーターの衣裳チームとの信頼は厚く、美しい衣裳は観客からも人気を博している。



大変光栄なことに私はせんがわ劇場のクリスマス公演の衣裳を担当させて頂き今年で8作品目になります。中でも真っ赤な衣裳のサンタクロースが舞台上に現れる演出。これは初

回からの伝統です。子供達の嬉し恥ずかしそうな反応はずっと変わりません。クリスマスの特別な劇場体験としていつまでも良い思い出になっているといいなと願っています。



2013年 vol.2「紙屋悦子の青春」作／松田正隆、演出／越光照文

## せんがわシアター121

劇場の財産となるレパートリー作品が生まれ、育つ舞台。

### DATA

開始時期：2013年2月  
開催回数：12回（うち2回は「親と子のクリスマス・メルヘン」として実施）  
のべ参加者数：438名  
のべ観客数：6,905名  
事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

劇場の客席数を冠した演劇公演のシリーズ。普段は劇場に足を運ばない人たちにも、仕事帰りに気軽に演劇を楽しんでもらいたいという思いから生まれました。

客席数121席という小劇場にふさわしい演劇の小品を、市民のみなさんと共に「珠玉の名作」に育て、劇場の財産となるレパートリー作品を増やしていくことを目指しています。

2012年度にリーディング公演をおこない、2013年度から本格的な公演をスタート。年に2本程度のペースで、劇場が自主制作する演劇公演をおこなっています。



- 2016年 vol.8～唄とピアノとお芝居と～「庭にはニワトリニ羽にワニ」「キニサクハナノナ」作／小川未玲、演出／志賀廣太郎
- 2017年 vol.10 海外戯曲リーディング「ノームとアーメッド」（オーストラリア）作／アレクサンダー・ブーザ、訳／佐和田敬司、演出／日澤雄介
- 2015年 vol.5「マヨイガの妖怪たち」作／堀江安夫、演出／河田園子
- 2013年 vol.1「戦場のピクニック」作／フェルナンド・アラバール、訳／若林彰、演出／末永明彦

右上：©田伏博 その他：©青二才晃（市民サポート）

常田 景子（翻訳家）

本邦初演作品「彼女の素肌」で劇場事業に初参加後、劇場の特長から、海外の優れた短編戯曲のリーディング公演を提案。地道な試読会を重ねながら、公演を実現している。



せんがわ劇場は、舞台と観客の距離が遠すぎず、親近感を持って上演を楽しむことのできる空間です。その点、リーディング公演にもぴったりだと思い、この企画に乗り出しました。見知らぬ外国の人たちの物語に、私たちとの違いや意外な共通点を見出して、興味や親しみを感じただけたら幸いです。

### 来場者アンケートより

リーディングからの本公演ですが、せんがわ劇場にあった作品になったように思います。レパートリー作品として今後も再演してもらいたいです。（2017）

2話の組み合わせがよかった。珠玉の小品という感じ。音楽も素敵だった。（2014）

短い上演時間だったので集中して見られた。開演時間も良く、学校が終わってから行けた。（2013）



2017年「John Zorn's COBRA」 ©MASAAKI IKEDA

# JAZZ ART せんがわ

即興音楽とアートが融合する  
唯一無二のフェスティバル。

## DATA

開始時期：2008年7月

開催回数：10回

のべ参加者数：1,560名

のべ観客数：16,304名

関わった市民サポーター数：138名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

即興的な音楽とアートパフォーマンスを融合させ、劇場と地域との関係を紡ぐジャズフェスティバル。2008年の第1回から、プロデューサーとして卷上公一、藤原清登、坂本弘道の3氏を迎え、国内外の一線のミュージシャンがずらりと並ぶ唯一無二のラインナップで、多くのファンから熱い注目を集めてきました。

劇場ライブにとどまらず、街中でライブを楽しめるプログラムや親子で参加できるワークショップなど、市民も気軽に楽しめるイベントにより、仙川の街が即興音楽とアートで彩られます。

## JAZZ ART せんがわ 2008（第1回）

巻上公一、サム・ベネット、川上未映子、清水一登、坂本弘道、山本建久、ヒカシュー、坂田明、Skist、さりげなくDivA、藤原清登 Jump Monk Orchestra CICALA-MVTA、山川冬樹、深町純、JAZZ ART TRIO、sim John Zorn's cobra Tokyo Sengawa operation 林正樹部隊（林正樹、鬼怒無月、佐藤芳明、喜多直毅、扇越啓介、吉永征樹、さがゆき、蜂谷真紀、大多和正樹、田中邦和、大島輝之、大谷能生、椿村昌弘、巻上公一）、SALLE GAVEAU CLUB JAZZ 屏風（徳久イフリム、立岩潤三、柳家小春、永田一直、ヤマねこさん、賀貸人、門田亮彦、村上巨樹、吉田悠樹、ツタッタ、北陽一郎）



## JAZZ ART せんがわ 2009（第2回）

なら春子トリオ、吉増剛造、大友良英、巻上公一、アルタードステイツ、ジンタラムータ、藤原清登、蜂谷真紀、酒井俊、坂本弘道、桜井芳樹、船戸史典、八木美知依トリオ、AGRA DHARMA（モリイクエ、シリヴィー・コルバジエ、巻上公一）、藤原清登 Jump Monk Orchestra ドラビでお、灰野敬二、RUINS alone 吉田達也、梅津和時、ヒカシュー、坂田明、ジム・オルーク、井野信義、田中徳崇 John Zorn's Cobra Tokyo Sengawa operation 内橋和久部隊（青木タイイ、モリイクエ、石橋英子、内橋和久、ジム・オルーク、シリヴィー・コルバジエ、千住宗臣、七尾旅人、ナスノミツル、山本達久、横川理彦、渡邊琢磨、巻上公一）、COMBO PIANO（渡邊琢磨、千住宗臣、内橋和久）、CLUB JAZZ 屏風（北陽一郎、桜井真樹子、ヤマねこさん、矢野圭＆罪☆遊子、林加奈、mc.sirafu、吉田悠樹、村上巨樹、道勝里美）、NEBULA、渡辺薰、タマンゴ、坂本弘道、芳垣安洋、KONTA、バスカルズ、カルメンマキ、黒田京子、喜多直毅



## JAZZ ART せんがわ 2010（第3回）

恥骨、谷川俊太郎、谷川製作、佐々木幹郎、VOICE SPACE、Haco、坂本弘道、荒井良二、梅津和時、田中泯、山下洋輔、小森慶子、吉野弘志、藤原清登、小松玲子、おおたか静流、巻上公一、Warehouse、藤井響子オーケストラ東京、藤原清登 NY trio original、坂田明、Jim O' Rourke、八木美知依、PIKA☆、太田惠資、大友良英 solo invisible songs with 阿部英智美、スネオヘアへ、やくしまるえつこ、ヒカシュー、蜂谷真紀、スガダイロー、外山明、John Zorn's COBRA 東京せんがわ作戦 大友良英部隊（Haco、吉田アフ、やくしまるえつこ、AYA、スネオヘアへ、高田達、Sachiko M. OLAIIBI、山本達久、石川高、長須与佳、大友良英、巻上公一）、ヤマねこさん、伊東篤宏、Yuko Kaseki、横川理彦、柳家小春、小春、永田一直、ヤマねこさん、賀貸人、門田亮彦、村上巨樹、吉田悠樹、ツタッタ、北陽一郎



## JAZZ ART せんがわ 2011（第4回）

恥骨、白石かずこ、井野信義、巻上公一、細江英公、梅津和時、田中泯、山下洋輔、小森慶子、吉野弘志、藤原清登、吉田隆一、大友良英、佐藤正治、太田惠資、鬼怒無月、吉良知彦、坂出雅海、柳家小春、泉邦宏、蜂谷真紀、ロケッタ・トマツ、石川浩司、秘宝感、KAZE、藤原清登 Jump Monk Bass Band Special、おじりたち（酒井後、石橋英子、山本達久、坂本弘道）、ヒカシュー、藤原大輔、荒井良二、PIKA☆、NON BAND、oncentro trio、副島篠人、Giovanni Di Domenico、高岡大祐、Haco、坂本弘道、八木美知依グラン・トリオ、坂田明、ジム・オルーク、山本達久、PIKA☆、高岡大祐、佐藤允彦、今堀恒雄、巻上公一、John Zorn's COBRA 東京せんがわ作戦 神田佳子部隊（有馬純寿、大石将紀、神田佳子、木ノ脇道元、坂本弘道、佐藤允彦、しばてつ、田中悠美子、中村仁美、石橋晋哉、藤原清登、松平敬、本田珠也、巻上公一）、泉邦宏、片山広明、藤掛正隆、喜多直毅、バール、アレキサンダー、Haco、CLUB JAZZ 屏風（ツタッタ、北陽一郎）、Soon Kim、金子泰子、林加奈、ヤンマー島村、吉田悠樹、村上巨樹、片山貴志、荒井康太、平山隼人、横山祐太、ヨシハマショウ、山本ヤマ



## JAZZ ART せんがわ 2012（第5回）

恥骨、伊藤比呂美、沢井一恵、CICALA-MVTA オオルタイチ、トンチ、おおたか静流、カール・ストーン、坂本弘道、倉久美夫トリオ、ベットボトル人間、藤原清登、ダヴィデ・サンントレーラ、福家俊介、巻上公一、坂田明、ジム・オルーク、山本達久、高岡大祐、チャラン・ボーランタン、うざらぎぬ、不破大輔、泉邦宏、東野祥子、坂本弘道、東京アリム、Haco、藤原清登、mito、勝井二、坂本弘道、ヒカシュー、沖至、チャンゴダイ、菊池マリ、梅津和時、熊谷和徳、清水一登、ウィンチスター・ニテテ、John Zorn's COBRA 坂本弘道部隊（エミ・エリオノーラ、後藤まりこ、川口義之、坂本弘道、中島さち子、竹久園、田中邦和、P.I.K.A☆、藤掛正隆、吉野弘志、山川冬樹、ユザーン、巻上公一）、柳家小春、池澤龍作、SMOKE BENDERS DUO、ヒグチケイコ、神田晋一郎、加藤崇之、Haco、CLUB JAZZ 屏風（ヤンマー島村、荒井康太、尾上祐一、狩俣道夫、木野彩子、後藤将一郎、しぶん、庄田次郎、鈴木美紀子、野村ジユン、NEZUMI、久田祐三、平山隼人、森順治、山田光、横山裕太、長峰麻貴）、吉田隆一、Soon Kim、北陽一郎、松本ちはや

JAZZ ART せんがわ 2013（第6回）  
恥骨、金澤一志、こばやし光、藤原清登、秘宝感、沖至、時々自動、黒田征太郎、荒井良二、坂本弘道、Superterz、Kohko Mori-Newton & SIMON BERN'S、藤原清登、灰野敬二、ヒカシュー、ローン・ニュートン、三田超人、清水一登、BRIGHT MOMENTS、Haco、今西玲子、梅津和時、サム・ベネット、鈴木昭男、Soon Kim、早川晶彌、藤掛正隆、北井あけみ、塙田次実、坂田明、ジム・オルーク、坂口光央、高岡大祐、山本達久、佐藤允彦、Jazz Art Trio、山田せつ子、John Zorn's COBRA ジム・オルーク部隊（ジム・オルーク、波多野敦子、須藤俊明、山本達久、石橋英子、とんち、ユザーン、五木田智央、石橋晋哉、坂本弘道、泉邦宏、岩見継吾、野崎理人、広瀬淳二、KILLER-OMA（鈴木勲、KILLER-BONG）、Haco、CLUB JAZZ 屏風（ヤンマー島村、荒井康太、尾上祐一、狩俣道夫、木野彩子、後藤将一郎、しぶん、庄田次郎、Maresuke、安田奈加、久田祐三、森順治、平山隼人、金子泰子、田中圭、武田理沙、鈴木公二、長峰麻貴）、吉田隆一、Soon Kim、北陽一郎、松本ちはや

JAZZ ART せんがわ 2014（第7回）  
恥骨、時々自動、伊藤キム、スガダイロー、山本達久、坂本弘道、センヤワ、内橋和久、ヒカシュー、沖至、坂田明、アンドレア・チンタツォ、藤原清登、巻上公一、平田康子、竹中俊二、石井彰、山崎比呂志、藤原清登、Soon Kim、鼓道研究会、井野信義、遠藤定、加藤久志、柳家小春、バール・アレキサンダー、巻上公一、R.U.B.、友川力也、山本精一、坂本弘道、ベットボトル人間、CLUB JAZZ 屏風（四家卯大、尾上浩志、多田葉子、田井中圭、ヒヤマ、林加奈、大竹大、ソウマヒカリ、長井望美、荒井康太、鎌田英嗣、シェーハイ、吉田悠樹、三田超人、オーブンステーク（ドイウコ）、巻上公一、MACHINE AND, THE SYNERGETIC NUTS、ムスキ・アリバボ・リー、レコード水越、aokid、キノ、赤チノ、さとうゆみ、ミハル、ピヂタフ、夏の大△、川村美紀子、歌女、今井和雄、ふらむりきん、blacksheep 3D、oncentro trio、中山晃子、灰野敬二、末森樹



第10回を祝して、  
漫画家の山本直樹氏より贈られたイラスト

JAZZ ART せんがわ 2015（第8回）  
恥骨、時々自動、NOTALIN'S、目黒陽介、テンテンコ、沖至、Ayumi Tanaka、藤原清登、八木美知依、新垣隆、吉田隆一、ヒカシュー、綿羅稚代、佐藤允彦、Art Hirahara、村上寛、藤原清登、太田惠資、佐藤允彦、巻上公一、宮崎博文、富川政嗣、カルメン・マキ、川上未映子、齊藤哲也、鈴木正人、千住宗臣、坂本弘道、先カンブリア・クラリネット四重奏団、Time is A Blind Guide CLUB JAZZ 屏風 & 公園イベント（四家卯大、柳家小春、森順治、田中まさよし、歌女、北陽一郎、内田典文、佐々木、蕙、林加奈、田中圭、泉邦宏、ゾヤ・ミコトバー女史、林由未、鎌田英嗣、池澤龍作、トマツカヒロ、田中ハル、大隅健司、長峰麻貴）

JAZZ ART せんがわ 2016（第9回）  
大野慶人、恥骨、WorldService Project、時々自動、ロジャー・ターナー、沖至、柳家小春、藤原清登、ジム・オルーク、石橋英子、ジョー・タリア、アイヴィン・ローニング、巻上公一、八木美知依トリオ（八木美知依、須川崇志、大村真）、Pheat、向島ゆり子、早川義夫、坂本弘道、冷水ひとみ、大野由美子、ASA-CHANG、ミナヅク、中原理也、坂本弘道、櫻本一子、坂田明、トマ・カッペラート、藤原清登、FOOD、ヒカシュー、CLUB JAZZ 屏風 & 公園イベント（柳家小春、林加奈、立岩潤三、尾引悠志、片岡祐介、落合康介、泉邦宏、あつすもナイト（伊藤麻実子、坂路得子、長谷川宝子）、びらみのんとっぽ、3日満（権現真由、佐藤公哉）

JAZZ ART せんがわ 2016（第10回）  
藤井響子オーケストラ東京（早坂紗知、泉邦宏、松本健一、吉田隆一、田村夏樹、福本佳仁、渡辺隆雄、城谷雄策、はぐれ雲、永松、古池寿浩、高橋保行、藤井響子、永田利樹、堀越彰）、アリストー・スペンス、トクマルシユゴ、カフルカ解、Jazz ART Trio、John Zorn's COBRA 山本達久、ジョー・タリア、坂口光央、吉田隆一、藤原大輔、太田惠資、大隅健司、謙訪創、嶺嶽稚代、柳家小春、熊坂路得子、後藤篤、パール・アレキサンダー、巻上公一、VocColours、北陽一郎、小森慶子、モーガン・フィッシャー、巻上公一、中山晃子、南美美子、七尾旅人、坂本弘道、喜劇映画研究会、板橋大矢、藤原清登、大福屋（斎藤和志、福田由美）、中村達也、PIKA、坂本弘道、ながめくらし坂、坂田明、ピーター・マドソン、藤原清登、松本治 Musica Immaginaria、ヒカシュー、クリス・ピッツィオコス、時々自動、沖至、CLUB JAZZ 屏風（清水一登、坂路得子、落合康介、藤巻鉄郎、菅間一徳、田井中圭、柳家小春、四家卯大、白石民夫、Galaramoo、高岡大祐、鈴木モモ、白神ももこ、林加奈、池間由布子）

## 来場者アンケートより

このイベントに来ると、いつも新しい音楽の（パフォーマンスも）発見がある。

世界的なアーティストをこのくらいのキャバでリーズナブルに見られる貴重なイベントだと思います。

（共にJAZZ ART せんがわ 2016（第9回））



## 総合プロデューサー巻上公一（超歌唱家）

第1回から総合プロデューサーとして参加。プロデューサーの藤原清登、坂本弘道と共に、JAZZ ART せんがわの顔としての存在感は絶大。



小さいからこそ豊かで挑戦的なジャズフェスができる。「世界でも活躍している日本の先鋭的な音楽家たちのホームとなるフェスを」という芸術監督のパートナー・ゲスナーの発案を受け、たくさんの友人たちの協力を得て、世界から出演希望者が殺到する。その魔法のような出会いの瞬間は輝いてますよ。大規模なフェスにない大切な音楽がここにはあります。

全写真:©MASAAKI IKEDA



2017年第8回表彰式にて、ファイナリスト・専門審査員・市民審査員・アドバイザー等で、記念の集合写真。

# せんがわ劇場演劇コンクール

次世代の舞台芸術の担い手を育てる  
育成支援型コンクール。

## DATA

開始時期：2010年2月

開催回数：9回

のべファイナリスト数：56団体

のべ観客数：5,879名

関わった市民サポーター数：90名

事業種類：次世代を担う舞台芸術活動者育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

劇場が掲げる4つの使命の一つ「舞台芸術を通じ、次世代を担う子どもたちや舞台芸術活動者を育成する」の演劇での中核を担うのが、この演劇コンクールです。

単に作品の優劣を評価して終わるのではなく、コンクール後も受賞者たちが劇場と関わりを持ちつづけられることが大きな特徴。グランプリや市民審査員によって選ばれるオーディエンス賞の受賞団体による受賞公演をはじめ、劇場が自主制作する演劇公演やアウトリーチ事業などへの参加をとおして、次世代を担う若手たちが舞台芸術活動者としての可能性を育んでいます。



2014年第5回グランプリ・劇団820製作所へ、  
イベント実行委員長より賞状授与。



2013年第4回グランプリ・オーディエンス賞  
THEATRE MOMENTS「パニック」



2015年第6回グランプリ ドキドキばーいづ「闇」



2016年第7回グランプリ 情熱のフラミンゴ「きれいなひかり」

最下：©Koji Ota その他：©青二才晃（市民サポーター）

## ファイナリスト&受賞者

### 第1回（2010年）

ちょうふ☆座2.1  
タマゴプリン <オーディエンス賞>  
花伝【KADEN】シアターカンパニー  
Menlo Park Studio  
ピースカンパニークルー  
chon-muop／チョンモップ  
FLIPPIP  
トランジスタ one <グランプリ>

### 第5回（2014年）

劇団晴天  
劇団ボニーズ <特別賞>  
ヘアピン俱楽部  
アカネジレンマ  
イマカラメガネ <オーディエンス賞>  
劇団820製作所 <グランプリ／脚本賞・演出賞：波田野淳祐／  
俳優賞：洞口加奈>

### 第6回（2015年）

オーストラ・マコンドー  
集団たま。  
劇団しようよ <オーディエンス賞>  
chon-muop <演技賞：chon-muop>  
LiveUpCapsules <脚本賞：村田裕子>  
ドキドキばーいづ <グランプリ／演出賞：本間広大>

### 第7回（2016年）

いきずり  
演劇活性化団体 uni  
情熱のフラミンゴ <グランプリ／脚本賞：島村和秀／  
演技賞：MIKI the FLOPPY>  
ナイスクンプレックス <オーディエンス賞>  
開幕ペナントレース <演出賞：村井雄>  
<トマソンの祀り>のための集まり

### 第8回（2017年）

平泳ぎ本店  
waqu:iraz <俳優賞：waqu:iraz>  
Pityman <劇作家賞：山下由>  
HOLIDAYS <演出家賞：深堀絵梨>  
スペースノットプランク <グランプリ>  
<ちびるの会 <オーディエンス賞>

### 第9回（2018年）

コトリ会議 <劇作家賞：山本正典>  
ブリーエゴナク  
ゆうめい <特別賞>  
すこやかクラブ <演出家賞：うえもとしほ>  
パンчетта <グランプリ&オーディエンス賞／  
俳優賞：パンчетта>  
N<sub>2</sub>／エヌツー

アドバイザー 德永京子（演劇ジャーナリスト）

劇場事業に深い理解を示しつつ、演劇ジャーナリストとしての豊富な知識と経験を活かして、コンクールにさまざまな角度からアドバイスを送っている。



2013年と2015年の審査員を経て、  
2016年以降はアドバイザーとして  
関わっています。せんがわ劇場が  
もともと行なってきた、コンクールとアウトリーチ事業の連携をき  
ちんと伝えながら、せんがわ劇場  
演劇コンクールを、多くの才能ある若手劇団が目指すコンクールに  
したいと考えています。10年目以  
降もよろしくお願ひいたします。



2017年第6回最優秀賞の受賞コンサート「坂本リサ ピアノリサイタル」

## ピアノを育てるプロジェクト／ せんがわピアノオーディション

「ピアノを育てる」から、  
「次世代ピアニストを育てる」へ。

### DATA

開始時期：2011年7月
開催回数：6回（オーディションのみ）
のべ参加者数：141名 (オーディションのみ)
のべ観客数：1,750名（育てるプロジェクト・受賞者コンサート含む）
関わった市民サポーター数：26名
事業種類：次世代を担う舞台芸術活動者育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

せんがわ劇場には、世界最高峰として知られるスタイルウェイのピアノがあります。しかし、2008年の開館時に導入したピアノは、まだ若く弾き込みが必要でした。そこではじまったのが「ピアノを育てるプロジェクト」。ショパンコンクール入賞歴も持つピアニスト・高橋多佳子さんが中心となり、コンサートや弾き込みによってピアノ本来の魅力を引き出す取組です。さらにピアニストも育てようと発展的に生まれたのが「せんがわピアノオーディション」。受賞コンサートをとおして、若手が次のステージへと羽ばたく登竜門です。



第5回最優秀賞の受賞コンサート「神谷 悠生 ピアノリサイタル」



第6回表彰式にて、受賞者と選考委員等で、記念の集合写真。



オーディションでは、演奏のほか、選考委員からのインタビューも行われるのが特徴です。



受賞コンサートの緊張から解放され、高橋さん、下田さんと談笑

### 受賞者

#### 第1回（2012年）

最優秀賞：江沢茂敏  
優秀賞：原万佑子 小林遼  
奨励賞：向田成人 浅井文 佐藤昌仁

#### 第5回（2016年）

最優秀賞：三重野奈緒 神谷悠生  
優秀賞：白河俊平 竹澤勇人  
奨励賞：犬飼実花 小鷹礼子  
市民審査員賞：田母神夕南  
高橋多佳子賞：秋山紗穂  
小川典子賞：小鷹礼子  
坂井千春賞：鈴木美祐  
下田幸二賞：田母神夕南  
三上桂子賞：土屋絵葉

#### 第2回（2013年）

最優秀賞：金悠里 田中優子  
優秀賞：猪狩雄斗 永易理恵  
奨励賞：奥村百合名

#### 第6回（2017年）

最優秀賞：坂本リサ  
優秀賞：田母神夕南  
優良賞：秋山紗穂  
市民審査員賞：菊池広輔  
坂井千春賞：奥谷翔  
下田幸二賞：菊池広輔  
三上桂子賞：中迫研  
高橋多佳子賞：遠藤詩子

#### 第3回（2014年）

最優秀賞：中迫研  
優秀賞：菊池広輔  
優良賞：奥谷翔 篠村友輝哉  
市民審査員賞：菊池広輔  
坂井千春賞：奥谷翔  
下田幸二賞：菊池広輔  
三上桂子賞：中迫研  
高橋多佳子賞：遠藤詩子

#### 第7回（2018年）

最優秀賞：三原未紗子  
優秀賞：下岡萌々子  
優良賞：谷口若菜 都筑小百合  
市民審査員賞：都筑小百合  
有森博賞：高梨壯一郎  
下田幸二賞：下岡萌々子  
三上桂子賞：三原未紗子  
三船優子賞：都筑小百合  
高橋多佳子賞：廣瀬由香里

プロデューサー 高橋 多佳子（ピアニスト）

「ピアノを育てるプロジェクト」に委嘱ピアニストとして参加中、本オーディションを自ら提案。選考委員長として、若者に愛情を注いでいる。



「せんがわピアノオーディション」も早いもので7回を数えました。最優秀賞のご褒美が劇場でのリサイタルということで、今や若いピアニスト達の間にすっかり浸透しています。先日も素晴らしい入賞者が生まれました。

今後も劇場とともに長く愛されるオーディションとなりますように祈っております。



2012年 交響詩劇「わが町、せんがわ」～サネアツさん～ 作・演出／末永明彦

## 市民参加演劇

みんなで創る、みんなが創る。  
市民参加から生まれる演劇の形。

### DATA

開始時期：2009年6月  
開催回数：20回（うち演劇公演は5回）  
のべ参加者数：743名  
のべ観客数：3,321名  
関わった市民サポーター数：437名  
事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

演劇のプロフェッショナルと一緒に、市民が主役となって創り上げる演劇のプログラム。近年はワークショップのシリーズと公演を隔年で開催しています（ワークショップのみの開催年も、必ず成果発表のステージを設けています）。

合言葉は、「みんなで創る、みんなが創る」。小学生から70代以上の方まで、プロもアマチュアも、年齢や性別も関係なく、一丸となって演劇に取り組みます。

市民が劇場や舞台芸術を身近に感じるきっかけであると同時に、貴重な多世代交流の場にもなっています。



- 2015年 音楽劇「わが町、ちょうふ～こどもの王国～」脚本／七海凪、作詞・演出／末永明彦
- 2014年 歌舞史劇「わが町、せんがわ」～おらほの時代～ 作・演出／末永明彦
- ケーブルTV J:COM「テレビ広報ちょうふ」内の「せんがわ劇場ニュース」コーナーに出演。
- 舞台美術の大きな木の材料は、なんと割りばしと輪ゴム。稽古の合間に、みんなで作りました。

全写真：©青二才晃（市民サポーター）

### 三谷 六九（俳優）

市民参加演劇のほか、せんがわシアター121出演、演劇コンクール専門審査員など、劇場事業に多数参加、劇場事業にも理解が深い。



私が参加させていた  
だきました市民参加  
の作品は、正しく手  
作り、市民の方たち  
との共同作業の賜物  
でした。本番はもちろ  
ん大事ですが、実  
は稽古を通して市民  
と劇場スタッフが一  
つになる事こそが、一番意義のある事だと思います。これからもこの本質を守り、作品作りに  
励まれる事を願います。せんがわ劇場万歳。

### 参加者アンケートより

新しい仲間と出会うことができ、幅広い世代の方と交流できたことがなによりも嬉しい財産です。（2014）

### 来場者アンケートより

老若男女、大勢の人がつくりあげた一つの劇でこんなにも心が温まると思いました。（2017）

# 元芸術監督・コーディネーター



2018年「おらほ亭せんがわ落語会」本番終了後に、参加者と講師で記念写真。

## 伝統芸能ワークショップ

### プロから学ぶ、本格派の落語ワークショップ。

プロの噺家に直接指導を受けながら落語を学ぶ。そんな貴重な体験ができる毎年恒例の人気企画です。

公募で集まった小学4年生から大人までの参加者たちが、講師の柳家三語楼師匠と相談しながら挑戦する演目を決定。三語楼師匠に加えて地元で活動する調布噺の会のみなさんの協力も得ながら稽古に励み、劇場で開催する落語会でその成果を披露します。

落語会では、ワークショップの参加者の発表だけでなく、柳家一門の本格的な落語も楽しむことができます。

#### DATA

開始時期：2009年10月

開催回数：9回

のべ参加者数：376名

のべ観客数：1,848名

関わった市民サポートー数：11名

事業種類：次世代を担う子どもたち  
育成事業



伝統芸能ワークショップ 講師 柳家 三語樓（噺家）

二ツ目・鈴々舎風車時代から講師として参加。真打となった今も、子どもから大人までの受講者を温かく指導している。

ワークショップは年々申し込みが増え大盛況です。受講者の稽古や発表会で自分の高座以上に緊張し、学芸会の親御さんの気持ちを味わい、落語会では、反応の良いお客様の前で楽しく高座を勤めております。これもみな温かい調布の皆様のお陰です。皆様どうぞ劇場にご来場くださいませ。

※回数・人数などは2017年度終了時のものです



元芸術監督  
ペーター ゲスナー

2007年に桐朋学園の前学長蜷川幸雄の推薦と調布市長の願いで、私は1か月間で2008年2月にオープニングできるように、現実的なコンセプトを出しました。客席を固定にし、建物の名前（せんがわ劇場）を決め、主な演劇活動を決めて、安藤忠雄のアヴァンギャルドな建築に合わせた、日本で今までに少ない魅力的な内容を作りました。レベルの高い演劇公演、サンデー・マティネ・コンサート、JazzArt フェスティバル、人形演劇祭 Inochi、年末の子どものためのファミリー公演、演劇コンクールなど、予定どおりに2008年2月から少しづつ始まりました。その小さな劇場に非常にチャレンジングなコンセプトは、劇場スタッフだけでは人手が足りなかったので、調布市民から、市立劇場として初めて演劇と音楽活動経験者のセミボランティアを募り、せんがわ劇場のアンサンブルとして、この活動を一緒に立ち上げる事になりました。この考え方はせんがわ劇場のもと（Identity）です。



演劇・市民参加・地域連携コーディネーター  
末永 明彦

地域の方々の想いで生まれた、せんがわ劇場。  
無限の可能性を秘めた劇場が誕生して、10年。  
せんがわ劇場の使命

市民参加の企画こそ、手間暇かけて丁寧に、専門的に、最高の環境を提供して行うこと。  
次代を担う芸術家が、より良き価値観を持つ芸術家となるように、継続的な支援、育成を行うこと。  
日本の公共劇場のスタンダードモデルを作ろうと、せんがわ劇場に関わる市民と専門家、そして行政が、いま、三者協働して取り組んでいる。



音楽コーディネーター  
合田 香

せんがわ劇場は10周年を迎えた。  
仙川は、そう広くないエリアに桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学、白百合女子大学と3つの大学があるという極めて珍しい地域性を持っています。しかし地域に拠点が無かったがために人々はこれらの大学の「文化力」を享受できずにいました。

「音楽と芝居小屋による地域づくり」という考えによってスタートした「せんがわ劇場」は、単に公演を行うだけではなく、文化を育む気風を地域の組織や人々ともに創りあげたといってよいでしょう。



音楽コーディネーター  
松井 康司

建物ができる前から桐朋短大の学長室で、どうソフトを充実させていくか全くゼロの状態から話し合いをスタートさせた日々のことが懐かしく思い出されます

す。この10年を振り返ると、職員の皆さんを始めとする多くの方のご苦労により市民密着型の理想の劇場になってきていると感じています。時代が変われば変化も求められてきますが、これまでの経験が劇場の新たな発展に繋がって行くと確信しています。



経営コーディネーター  
間瀬 勝一

公立の劇場ホールには施設規模によらず4つの使命があると言われている。

それは、劇場を皆さんに使って頂くこと、文化芸術の鑑賞が出来ること、文化芸術の良さを知り感じて頂くこと、劇場が優れた作品を創造して提供すること。

せんがわ劇場は開館以来、この10年でその成果が見えてきた。次の10年に期待したい。



2010年第9回公演「オンドリース」作／ジャン・ジロドゥ、翻訳／二木麻里、演出／ペーター・ゲスナー

## アンサンブル公演

**市民とプロが共に創作する  
新しい舞台のつくり方へのチャレンジ。**

### DATA

開催時期：2008年6月～2012年12月

開催回数：12回（うち2回は「親と子のクリスマス・メルヘン」として実施）

のべ参加者数：588名

のべ観客数：10,360名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

美術、音響、照明、衣装、制作、広報、宣伝デザインといった公演のスタッフワークから、日常的な劇場の広報活動やロビーの飾り付けまで。劇場に所属してさまざまな活動をおこなうボランティアの「市民アンサンブル」メンバーと、公募で集まったキャストやプロフェッショナルな俳優・スタッフが力をあわせ、質の高い作品を制作する。そんな「新しい舞台づくりの方式」を実現する試みが「アンサンブル公演」です。

舞台芸術を志す人が集い、より成長する場として、12回の公演がおこなわれました。



- 2009年第4回公演「THE WINDS OF GOD ~零のかなたへ~」原作・脚本・演出／今井 雅之 © 加島和彦
- 2008年第1回公演「愛ってなに？」作／テアトル・ローテ・グルツツエ、翻案・脚色／ジェームス三木、演出／ペーター・ゲスナー
- 2008年0番目企画「時の物置」作／永井愛、演出／ペーター・ゲスナー
- 2009年第8回公演「新羅生門」作・演出／横内謙介 © 青二才晃（市民サポート）

### 真那胡 敬二（俳優）

初期の公演から多数出演しているほか、演劇コンクールの専門審査員を2度務めるなど、せんがわ劇場との縁の深い俳優の一人。



#### 来場者アンケートより

たくさんの方々の力が合わさって一つの舞台ができているのがよくわかった。とても素敵な場所だと思った。大切にしてください。（2012）

俳優陣のレベルの高さにひきこまれました。不思議な形のステージなのに、声も良く聞こえたり、照明も躍動的で、本もよいし、とにかくびっくりすることばかり！地域が育てた公演でコレはスゴイ！（2010）

08年「時の物置」  
09年「星の王子さま」  
10年「オンドリース」とオープンから3年  
続けて出させて頂きました。当時、芸術監督ペーター・ゲスナー氏の情熱が人々を巻き込み、いろんな奇跡を起こしていました。特に「時の物置」は格別ですね。永井愛さんも感動して下さいましたよ。



# 人形演劇祭

## “inochi”

いのちの本質に  
人形をとおして迫る  
人形演劇のフェスティバル。

2011年第2回より progressive note 6「音靈=おとだま=」  
genre:Gray 利己的物体と奉仕的肉体によるグロテスク Ku in Ka

### DATA

開催時期：2010年1月～2013年2月  
開催回数：4回(+2014年に単発の人形演劇公演を実施)  
のべ参加者数：311名(単発公演を含む)  
のべ観客数：2,842名(単発公演を含む)  
関わった市民サポーター数：26名  
事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

あらゆる世代に向けた芸術的な人形演劇のフェスティバル。そんな日本では他に類を見ない試みが、2010年から4回にわたって開催されました。

大がかりな演劇には向かないせんがわ劇場も、人形演劇にはぴったりのサイズであることに目をつけた芸術監督(当時)のペーター・ゲスナーが発案。国際的な視野から「inochi」と名付けられ、海外でも活躍するアーティストが多数参加しました。また、参加アーティストが、これをきっかけにアンサンブル公演やJAZZ ARTへ出演するなど、新たなコラボレーションも生まれました。



## その他の事業

多彩なプログラムで劇場を身近な存在に。

### プロデューサー

玉木暢子、黒谷都（～第3回）、松井憲太郎（～第3回）

### 参加団体

ake\_miya、大井弘子、ツヂバデルコ、たまにやんカンパニー（映像）、人形舞台yumehina、れもん座、塚田次実、森田晋玄、genre:Gray KUROSOLO 番外、渡邊世紀（映画）、sound office 音旅舎、genre:Gray 原田依幸+黒谷都、デバドロ・アノ、NORISAWA、ながめくらしつ、バーバラ村田と音の人、劇団かかし座、チェオボン、genre:Gray Ku in Ka progressive note 6、人形劇団ひとみ座、人形劇・トロッコ、genre:Gray unco happy!、かわせみ座、百鬼ゆめひな、JIROX DOLLS SHOW、KUROSOLO壱番、人形劇団パン、Puppet Theater ゆめみトランク、人形劇団ココン、影絵人形劇団みんわ座

### プロデューサー 玉木暢子（人形遣い）

第1回からプロデューサーとして参加。フェスティバル全体をリードしながら、制作実務などもこなし、あらゆる面で人形演劇祭を支えた。



「人形による現代の舞台表現」のフェスティバルは日本では前例がなく、あちこちで評価された反面、大変だった思い出は星の数ほど。あれは夢の時間だったに違いありません。やり残し感もあった時から5年たちました。当時の出演者の多くが、国内外で羽ばたいて活躍中です。

### 他にもこんな事業がありました

#### ・仙川・まちなかコンサート

「仙川の街を散歩しながら、気楽に音楽に触れる一日」がコンセプトの無料コンサート。商店街など、仙川のまちなかがステージに。

#### ・エントランス企画

市民アンサンブル（当時）が企画の中心となり、劇場活性化のために玄関口にてプロによる紙芝居などをおこなった。

毎年、夏休みの恒例となっているのが、子ども向けワークショップです。芸術表現のプロとして活動するアーティストを講師に、公募で集まった子どもたちが協力しながら公演を創り上げます。年齢や学校の違う子どもたちとの創作過程をとおして、子どもたちは自分の可能性や表現活動の楽しさと出会います。

また、過去には、一線で活躍するアーティスト・劇団を招いた「招待公演」や若手育成に特化した「新進芸術家育成公演」なども実施。そのほか、劇場を地域に開放したさまざまなイベントも実施しています。

■ 2013年新進芸術家育成公演「彼女の素肌」作／レベッカ・レンカヴィッツ、訳／常田景子、演出／西川信廣

■ 2015年 夏休み子ども表現ワークショップ「何が出てくる？ダンスおもちゃ箱！」講師／佐川大輔

■ 2015年 音楽劇「橋を渡る」原作・台本構成／七海虹、演出／横山由和

■ 2018年 仙川・まちなかコンサート（10周年記念事業）

右下以外：©青二才晃（市民サポーター）



2014年おらほせんがわ夏まつりで「アナと雪の女王」の曲に合わせ、劇場提供の衣装をまとめてパレードしました。©青二才晃（市民サポーター）

## 地域連携事業

にぎわいと文化を生み出す  
地域に根ざした劇場づくり。

劇場のある仙川地域のにぎわいと文化の活性化に貢献することを目的に、2009年より地域の学術機関や商店街と連携した事業をおこなっています。

地域の商店街が主催する「おらほせんがわ夏まつり」では、市民サポーターが中心となって劇場空間を活かした体験型のプログラムを毎年実施。日頃劇場に来ることのない市民が、劇場に足を運ぶきっかけになっています。

また、仙川地域にキャンパスをもつ桐朋学園大学・桐朋学園芸術短期大学や白百合女子大学の学生たちによる公演も劇場ホールで毎年開催しています。

### DATA

開始時期：2009年8月

開催回数：31回

のべ観客数：11,885名

関わった市民サポーター数：405名

事業種類：地域の芸術文化ネット  
ワーク創造事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです



■ 2017年おらほせんがわ夏まつり「ロールプレイング劇場」。物語立てのバックステージツアーは大人気。  
案内も出演も市民サポーターやボランティアです。©青二才晃（市民サポーター）

■ 桐朋学園芸術短期大学の公演。プロを目指す学生たちの熱気があふれます。

■ 白百合女子大学の学生による、子どもたちにむけての公演。

佐川 大輔

（演出家、俳優、「THEATRE MOMENTS」主宰）

第4回演劇コンクールグランプリを機に、さまざまな劇場事業に積極的に参加。市民サポーターが中心となる「おらほせんがわ夏まつり」でも、市民と共に、企画から当日運営まで盛り上げている。



僕の演劇の原体験は、幼少時の夏祭り。そんな僕が祭りを作る側になるとは。おらほせんがわ夏まつりのコンセプトは「地域市民、アーティスト、そして、劇場の三者がハッピーになる」こと。毎年試行錯誤ながら、少しづつ形になってきたかと。これからも各々の立場を超えて、祭りという非日常を楽しみましょ！だって、ここは劇場なんだから。

### 来場者アンケートより

(RPG の手法で劇場内を探索するプログラムに参加して) 子供が勇者の気分になれるかな? と思ったのですが、とても雰囲気がきちんと創られていて最初少し怖かったみたいです(^^)でもとても楽しんでいて、2、3日思い出しては話していました。(2018)

(夏まつり「うたごえサロン」で) いつも大きな声で歌う事がないので素敵なうたを沢山お腹から声を出して歌えました。楽しい一時を過ごせてありがとうございました。(2015)



演劇アウトリーチ。遊びながら、絵本の世界を身体で体験しています。



音楽アウトリーチ。演奏を聴くだけでなく、楽器に触ることで、より深く興味を抱くことができます。

## アウトリーチ

劇場も地域も、アーティストも。  
芸術をとおしてつながり、育て合う場。

### DATA

開始時期：2014年1月

開催回数：35回

のべ参加者数：5,798名

関わった市民サポーター数：479名

事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の  
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

市内の小学校や児童館といった劇場以外の場所にアーティストが出向き、子どもたちが芸術表現にふれる機会をつくるせんがわ劇場のアウトリーチ。この事業の担い手となっているのは、演劇コンクールの入賞者や桐朋学園大学の学生など、次世代アーティストたちです。

2018年には、これまでに培ってきたワークショップなどのノウハウを共有し、さらなるスキル向上やプログラム開発をおこなう「ドラマ・エデュケーション・ラボ」も発足。劇場と地域、そして若手アーティストがつながり、それぞれが成長するモデルが生まれつつあります。



- ワークショップのスキル向上をめざし、海外から講師を招くこともあります。
- コミュニケーションワークショップが、まだお互いをよく知らない新入生が仲よくなる一助になっています。
- 演奏や楽器についての質問が、子どもたちからたくさん飛び出します。
- アウトリーチの前後には、真剣な打ち合わせや振り返りが行われています。

### 参加者アンケートより

「自分を表現する」ということがこんなにも楽しいことだと思えるようになりました。1年生のとき苦手だった「人の前で話す。発表する」ということも、アウトリーチの時間を通して少しづつできるようになりました。(2017)

演劇を本格的にやりたいと思った。(2014)

来年も（学校でのアウトリーチの時間が）あるなら参加したい。(2014)

柏木 俊彦

(演出家、俳優、「第0楽章」代表)

プレシーズンから俳優として劇場事業に関わっていたが、第4回演劇コンクールへの出場を機に、アウトリーチにも初期から参加、チームをリードしている一人。



演劇をツールとして教育機関や施設に出向いてのワークショップ。「芸術と社会のつながり」そして「私たちは何ができるのだろう?」と日々思考しています。時間も労力もかかりますが、参加者の笑顔や成長に立ち会えた瞬間は、作品が成就した時と同じくらい幸福感になります。

# せんがわ劇場のあるまち、仙川



# 劇場からの情報発信



## 劇場からの情報を届ける広報メディア。

せんがわ劇場では、公演・イベント情報はもちろん、舞台裏の模様や出演アーティストのインタビューなど、芸術をより身近に感じられる情報を発信しています。

オンラインでの情報発信のハブとなるのは、公式ウェブサイト、Twitter アカウントや Facebook ページ、YouTube チャンネル、公式ブログと連動させながら、多面的な劇場の姿を発信しています。

一方、イベント情報を載せた「月刊カレンダー」や広報紙「せんがわ劇場 NEWS」、市民サポーターが編集する「121 press」など、印刷メディアも発行しています。



## 施設概要

### せんがわ劇場の主な広報メディア

公式サイト	121 press
公式ブログ	市報 ちょうふ
Twitter (@SengawaG)	JCOM 「テレビ広報ちょうふ」内「せんがわ劇場ニュース」
Facebook ページ (@sengawagekijo)	調布 FM (CM・番組出演)
YouTube チャンネル	
劇場前デジタルサイネージ	
月刊カレンダー	
広報紙「せんがわ劇場 NEWS」	



せんがわ劇場 HP TWITTER FACE BOOK



## 施設概要

地域とのつながりを劇場設置目的の一つとし、施設自体がまちの顔となり、地域の街並みや景観と一体となるよう、コミュニティ施設と保育園等が併設されています。

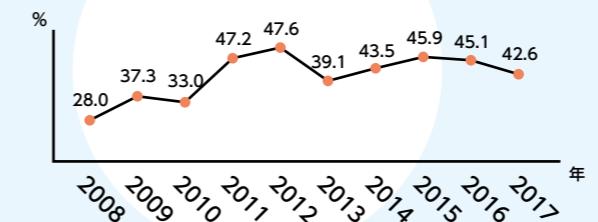
名 称	調布市せんがわ劇場
所在地	調布市仙川町1丁目21番地5
規 模	鉄筋コンクリート3階建 延べ床面積：1,255 平方メートル 仙川保育園・仙川ふれあいの家・防災備蓄倉庫併設 ホール：188 平方メートル リハーサル室：42 平方メートル
休館日	毎月第3月曜日及び年末年始（12/29～1/3）
開館時間	午前9時～午後10時
ホールの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>演者の表情や息遣いが身近に感じられ、観る者と演ずる者が一体となった感覚を味わえる空間（アットホームな空間）</li> <li>残響時間が約1.0秒で細かな音が聞き取りやすい（演劇向け）</li> <li>客席の変形が可能（ひな壇式121席→平置き式162席）</li> <li>スタインウェイ&amp;サンズ社 グランドピアノC-227を設置</li> </ul>



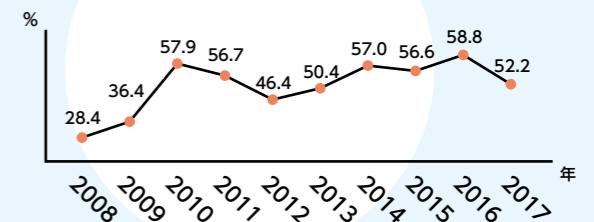
## 貸館データ

2008-2017

これまでのホールの施設貸出利用率は…



これまでのリハーサル室の施設貸出利用率は…



ホール、リハーサル室ともに増減しながら増加傾向にあります。

※施設貸出の他に劇場事業での使用があります。

### ホールの使用

演劇公演では3日以上の長期利用が多いいため、演劇での使用が多くなっています。



登録団体数の累計は、

1081 団体



### リハーサル室の使用

防音の部屋で、大きな鏡もあり、舞踊での使用が多くなっています。



# 年表

平成20年	
2月2日	オープニングセレモニー「トークイベント」(於グリーンホール)、「こけら落とし」
2月3日	内覧会
2月8日～11日	桐朋学園芸術短大専攻科演劇専攻公演「見よ、飛行機の高く飛べる」作／永井愛、演出／越光照文
2月16日～24日	アンサンブル0番目企画(1)「時の物語」作／永井愛、演出／ペーター・ゲスナー
2月27日～3月2日	アンサンブル0番目企画(2)「モバイル」作／セルジ・ベルベル、翻訳／萩原健、演出／ペーター・ゲスナー
3月5日～9日	劇団21世紀FOX「深大寺恋物語」原案／深大寺恋物語入賞作品、作／FOX BRAINS、演出／肝付兼太
3月15日～16日	～Opening Gala～リレーコンサート せんがわ劇場オープニング祝祭合唱団、桐朋学園大学・桐朋学園芸術短期大学、白百合女子大学グリークラブ、調布市青少年吹奏楽団、調布市音楽連盟加盟団体 ほか
3月20日	武者小路実紀念館 実箭作品公演「実箭を喰く～仙川の実箭」演出／川和孝
3月23日	白百合女子大学児童文化クラブ「幼児のための人形劇・紙芝居」
3月27日～30日	調布市民演劇センター「調布わが町」原作／ソーン・ワイルダー、翻案／岩村久雄
4月1日	開館
4月20日	サンデー・マティネ・コンサート(以下、SMC)1 スタートコンサート 桐朋学園大学音楽学部(金管五重奏) & 桐朋学園芸術短期大学(現代音楽)
5月4日	SMC2 プロフェッショナル 佐藤裕子(ピアノ)
5月18日	SMC3 未来のホーパー 鮎沢京吾(三味線)
6月8日	SMC4 体験レクチャー 桐朋学園大学音楽学部(打楽器)
6月20日～22日	アンサンブル第1回公演「愛ってなに？」作／アトロ・ローテ・グルツェ 脚色／ジェームス三木 演出／ペーター・ゲスナー
6月22日	SMC5 未来のホーパー 粟津淳、池邊真帆、松村佳織、奥村景(弦楽四重奏)
6月30日～7月13日	演劇招待公演「ローゼ・ベルント」主催／燐光群、グッドフェローズ
7月6日	SMC6 プロフェッショナル 松本淳一(エレクトーン)
7月18日～20日	JAZZ ARTせんがわ2008(第1回)
7月20日	SMC7 プロフェッショナル 深町純(ピアノ／即興演奏)
8月3日	SMC8 プロフェッショナル 吉井美由紀(ピアノ)
8月9日～17日	アンサンブル第2回公演「ロミオとジュリエット」作／ウィリアム・シェークスピア、演出／宮崎真子
8月17日	SMC9 市民音楽家 魏瑋(中国琵琶)
8月20日～30日	夏休み子ども演劇教室 講師／劇団21世紀FOX
9月7日	SMC10 市民音楽家 陳昌鉉(ヴァイオリン製作)
9月10日～15日	演劇招待公演「顔を見ないと忘れる」主催／演劇ユニット星ノ月
9月21日	SMC11 プロフェッショナル 津田真理(ピアノ)
10月5日	SMC12 桐朋学園大学音楽学部(弦楽四重奏)
10月19日	SMC13 未来のホーパー 嶺谷直人(ヴァイオリン)
11月2日	SMC14 未来のホーパー いちむじん(クラシックギターデュオ)
11月16日	SMC15 市民音楽家 常味裕司(ウード)
12月14日	SMC16 体験レクチャー 桐朋学園芸術短期大学(筝)
12月19日～23日	アンサンブル第3回公演 親と子のクリスマスファンタジー「雪の女王」原作／ハンス・クリスチャン・アンデルセン、作／エフゲニー・シュヴァルツ、演出／ペーター・ゲスナー

平成21年	
1月11日	SMC17 未来のホーパー 佐藤奏夢(ピアノ)
1月25日	SMC18 プロフェッショナル 奥村愛(ヴァイオリン)with鷹羽弘晃(ピアノ)
2月8日	SMC19 プロフェッショナル アンサンブル・ノマド
2月22日	SMC20 未来のホーパー 入江要介(尺八)
3月8日	SMC21 体験レクチャー 桐朋学園大学音楽学部(ハープ、フルート)
3月14日～22日	アンサンブル第4回公演「THE WINDS OF GOD～零のかなたへ～」原作・脚本・演出／今井雅之
3月22日	SMC22 市民音楽家 石井真紀(メゾ・ソプラノ)松井康司(バリトン)佐藤紀雄(ギター)
4月26日	SMC23 スタート・コンサート 桐朋学園大学音楽学部(金管五重奏)
5月15日～19日	アンサンブル第5回公演「星の王子さま」原作／アントワネット・ド・サン=テグジュベリ、脚本／調布市せんがわ劇場アンサンブル、演出／ペーター・ゲスナー
5月21日～24日	演劇招待公演「THE NEWSPAPERミニライブ'09」主催／TNPカンパニー
5月24日	SMC24 体験レクチャー 原さとし(パンジョン)
5月31日	SMC25 未来のホーパー 新倉瞳(チェロ)
6月12日～14日	JAZZ ART せんがわ2009(第2回)
6月14日	SMC26 in JAZZARTせんがわ 梅津和時(サックス)
6月20日～7月5日	「市民とくる演劇！演劇舞踊ワークショップ」と発表会公演「スウォード フィッシュトロンボーン～真夏の夜の神様たち～」講師／小池博史
6月28日	SMC27 音楽劇「ショーベルト物語」桐朋学園芸術短期大学
7月12日	SMC28 パロック音楽(古楽) 井上由紀(ソプラノ)、荒木優子(パロックヴァイオリン)、大塚直哉(チェンバロ)
7月26日	SMC29 長唄時記 ～お正月から年の瀬まで～ 東音 林典子(唄・三味線)、望月庸子(鳴物)、望月美沙輔(笛)
8月1日～3日	地域連携事業 おはせんがわ夏まつり

8月2日	主催／仙川商店街協同組合・おはせんがわ夏まつり実行委員会 SMC30 未来のホーパー TSUKEMEN(ヴァイオリンとピアノ)
8月10日～23日	夏休み子ども演劇教室 講師／西海真理、寺本佳世、並河咲耶 SMC31 世界の楽器・音楽の世界(マンドリン)3rd Music Labo.(マンドリンアンサンブル)、合田香(指揮)
8月16日	照明・音響・舞台機構ワークショップ 講師／(株)東京舞台照明
8月20日～22日	インプロワークショップ 講師／銘川友梨
9月8日	SMC32 世界の楽器・長唄 東音 林典子・東音 小林百合(唄)ほか
10月4日	SMC33 未来のホーパー TrioAction!!! (フルート)
10月4日	「おはせんがわ落語会」講師／柳家さん、鈴々舎風車、柳家初花
10月18日	SMC34 「時代(とき)を超えて響くリードオルガンの調べ～風・息・飛翔～」塚田佳男(リードオルガン)
10月23日～31日	アンサンブル第6回公演「THE WINDS OF GOD～零のかなたへ～」原作・脚本・演出／今井雅之
11月1日	SMC35 未来のホーパー 嶺谷直人・新倉瞳(ヴァイオリンとチェロ)
11月7日～8日	音楽招待公演「ほんのうた」in調布～芸術歌曲から童謡・唱歌まで 主催／東京室内歌劇場
11月15日	SMC36 与那城敬(バリトン)、梅田朋子(ピアノ)
11月30日	表方スタッフ制作講座 講師／小林睦子
12月6日	SMC37 スタインウェイのある空間 荻野美晴・荻野千里(ピアノ連弾)
12月6日	「おはせんがわ落語会」講師／柳家さん、鈴々舎風車、柳家初花
12月11日～20日	演劇招待公演 親と子のクリスマスメルヘン「アンデルセンの卵」主催／風凧ダンス
12月20日	SMC38 クリスマスマ・コンサート 桐朋学園芸術短期大学女声合唱団(女声合唱)ほか
8月22日	主催／桐朋学園大学音楽学部(金管五重奏) & 桐朋学園芸術短期大学(現代音楽)
6月22日	SMC5 未来のホーパー 粟津淳、池邊真帆、松村佳織、奥村景(弦楽四重奏)
6月30日～7月13日	演劇招待公演「ローゼ・ベルント」主催／燐光群、グッドフェローズ
7月6日	SMC6 プロフェッショナル 松本淳一(エレクトーン)
7月18日～20日	JAZZ ARTせんがわ2008(第1回)
7月20日	SMC7 プロフェッショナル 深町純(ピアノ／即興演奏)
8月3日	SMC8 プロフェッショナル 吉井美由紀(ピアノ)
8月9日～17日	アンサンブル第2回公演「ロミオとジュリエット」作／ウィリアム・シェークスピア、演出／宮崎真子
8月17日	SMC9 市民音楽家 魏瑋(中国琵琶)
8月20日～30日	夏休み子ども演劇教室 講師／劇団21世紀FOX
9月7日	SMC10 市民音楽家 陳昌鉉(ヴァイオリン製作)
9月10日～15日	演劇招待公演「顔を見ないと忘れる」主催／演劇ユニット星ノ月
9月21日	SMC11 プロフェッショナル 津田真理(ピアノ)
10月5日	SMC12 桐朋学園大学音楽学部(弦楽四重奏)
10月19日	SMC13 未来のホーパー 嶺谷直人(ヴァイオリン)
11月2日	SMC14 未来のホーパー いちむじん(クラシックギターデュオ)
11月16日	SMC15 市民音楽家 常味裕司(ウード)
12月14日	SMC16 体験レクチャー 桐朋学園芸術短期大学(筝)
12月19日～23日	アンサンブル第3回公演 親と子のクリスマスマ・コンサート「雪の女王」原作／ハンス・クリスチャン・アンデルセン、作／エフゲニー・シュヴァルツ、演出／ペーター・ゲスナー
8月22日	主催／桐朋学園大学音楽学部(モンゴル) 賽音吉雅(馬頭琴)、武藤智史(バーカッション)
1月21日～24日	アンサンブル第7回公演「人形演劇「銀河鉄道の夜」」作／宮沢賢治 演出／黒谷都 SMC40 桐朋学園芸術短期大学ギター科(ギター・アンサンブル)
1月26日～31日	第1回人形演劇祭「inochi」
2月6日～7日	第1回演劇コンクール
2月11日	舞台裏スタッフ制作講座 講師／未永明彦
2月14日	SMC41 「おせきとムジナと戻り橋」主催／桐朋学園芸術短期大学
2月21日	SMC41 愉快なコンサート アンサンブル・ジビエ(永井由比(フルート)、齊藤惟吹(ギター)、永井幸恵(ピアノ)、村田厚生(トロンボーン))
2月28日	SMC42 ピアノ・コンサート 岸奈美子(ピアノ)
3月7日	SMC43 ホルランアンサンブル 桐朋学園大学音楽学部ホルン科(ホルン)
3月13日～22日	アンサンブル第8回公演「新羅生門」作・演出／横内謙介
3月21日	SMC44 パーカッション 安江佐和子、長屋綾乃、村田恵子、野口彩乃
4月25日	SMC45 春のスタートコンサート 新藤昌子(ソプラノ)、腹部尚子(ピアノ)
4月28日	音楽招待公演「スティーヴ・ロッセ テューパソロ&アンサンブルコンサート」主催／仙川金管合奏団
4月29日	音楽招待公演「LIBERTAD LIVE 2010-The Spring Breeze-」主催／リベルタッド
5月16日	SMC46 テューバデュオコンサート マーク・シェーン、石坂浩毅(テューバ)
5月22日～30日	演劇招待公演「ペリオラン」主催／劇団黒田
5月30日	SMC47 世界の楽器(ロシア) 北川翔ほか(バラライカ)
6月13日	SMC48 みんなで選ぼう！仙川のテーマ 桐朋学園大学音楽学部作曲専攻
6月14日～28日	「カラダで遊ぶ！」コンテンポラリーダンスワークショップ 講師／楠原竜也
6月27日	SMC49 シューマン・ショパン生誕200年企画 音楽劇「ショパン物語」
7月4日	コンテンポラリーダンス公演「UN VIAGGIO NUOVO～ダンスと“あたらしく”旅へ出かけよう！～」構成・演出／楠原竜也
7月9日～11日	JAZZ ARTせんがわ2010(第3回)
7月11日	SMC50 in JAZZ ARTせんがわ 架空の国のヴァイオリン 太田恵資(ヴァイオリン)
7月25日	SMC51 クラシック名曲コンサート 井上静香(ヴァイオリン)ほか
8月1日	SMC52 in おはせんがわ夏まつり いちむじん(ギター)
8月1日～3日	地域連携事業 おはせんがわ夏まつり コンテンポラリーアートinせんがわ
8月5日～30日	「おはせんがわ落語会」講師／柳家さん、鈴々舎風車、柳家初花
8月19日～28日	「パフォーマンスキッズ・トーキョーinせんがわ落語会～かなでるカラダ みらいをつくるわたしとワタシ」主催／東京都、講師・構成・演出／新井英夫
9月1日～3日	SMC53 リスト名曲コンサート テューパソロ&アンサンブルコンサート
9月16日	音楽招待公演「THE SPRING BREEZE」主催／リベルタッド
9月21日～28日	SMC48 体験ワークショップ(1)衣裳 講師／仲村祐妃子(2)人形 講師／渡辺数恵、黒谷都
8月29日	SMC53 音楽物語「ぞうのバーナー」題由美子(ピアノと語り)
9月5日	SMC54 シューマン・ショパン生誕200年企画 レクチャーコンサート～シューマン～ 西原稔(お話)、和田絶美里(ピアノ)
9月5日	「おはせんがわ落語会」第1部「市民落語会」公演会場発表会
11月30日～12月2日	地域連携事業「魔女のrinrin」主催／白百合女子大学
12月11日	SMC81 古くて新しい！？バロック音楽の世界 メディオ・レジストロ
12月17日～25日	アンサンブル第11回公演「クリスマス・キャロル」原作／チャールズ・ディケンズ、翻訳／松本永実子、脚色・演出／菊池准
12月25日	SMC82 クリスマスコンサート レ・フィーユ(フルートカルテット)
8月22日	主催／桐朋学園大学音楽学部(ソプラノ)佐藤康司(バリトン)
1月22日	SMC83 サクソフォーン・ソロコンサート 彦坂真一郎
1月25日～29日	第2回演劇コンクールグランプリ・オーディエンス賞受賞公演「SINGLES」主催／青春事情
1月29日	SMC84 独奏による三味線の世界 本條秀慈郎
2月3日～5日	地域連携事業「夢、オセローの稽古」の主催／桐朋学園芸術短期大学
2月18日～19日	第3回演劇コンクール
2月26日	SMC85 リクエストコンサート 志鷹美紗(ピアノ)
3月11日	SMC86 大切な人に届けたい詩 石島正博(作曲)ほか
3月15日～23日	第3回人形演劇祭「inochi」
3月25日	SMC87 オジサンたちと過ごすイタリアンなひととき 藤川泰彰(テノール)、古高晋一(ピアノ)
3月25日	ファミリー5/大人になる前に知っておきたい日本のうたコンサート」新藤昌子(ソプラノ)ほか
4月29日	SMC88 春のスタートコンサート 本橋優、藤田由華、辰巳はるか、田中洋美、高見朋広(金管五重奏)
5月13日	SMC89 新緑のヴァイオリンコンサート 大塚百合菜(ヴァイオリン)、三原未紗子(ピアノ)
5月22日～6月27日	

5月19日	SMC107 桐朋学園大学打楽器科によるスペシャルコンサート 桐朋学園大学打楽器科学生
6月8日~9日	第4回演劇コンクール
6月11日~7月3日	舞台技術ワークショップ 講師／未永明彦、寺田真理 SMC108 フルートコンサート 難波薫(フルート)、加藤真一郎(ピアノ)
6月23日	JAZZ ARTせんがわ2013(第6回)
7月19日~21日	JAZZ ARTせんがわ2013(第6回) SMC109 in JAZZ ART せんがわ2013 鈴木昭男(サウンド・アーティスト)
7月21日	SMC109 in JAZZ ART せんがわ2013 鈴木昭男(サウンド・アーティスト)
7月24日~8月24日	パフォーマンスキップトーキョーせんがわ劇場「田村一行のとんずら」 主催：東京都ほか、講師／田村一行
7月28日	SMC110 日本音楽・筝の倫みし 池杉恆理奈(筝)、本間貴士(筝)
8月1日~2日	地域連携事業 わらせんがわ夏まつりinせんがわ劇場／仙川商店街協同組合
8月4日	SMC111 世界の楽器(ウクレレ) 高橋重人
8月25日	第2回せんがわピアノオーディション
9月10日~10月2日	表現ワークショップ「ステージアーティスト講座」実践編/講師／出雲裕(舞と所作)、菊池准(演技)、佐藤正行(殺陣)、小池博史(身体表現)、楠原竜也(身体表現)
9月15日	SMC112八尺で聴く日本の名曲と、和洋の共演 入江要介(尺八)
9月29日	SMC113未来のホープ 福田悠一郎(ヴァイオリン)、大越崇史(ピアノ)
10月6日	SMC114レクチャーコンサート～チャイコフスキ～ 西原稔(レクチャー)、中川朋子(ピアノ)、村井智(チエロ)、横島礼理(ヴァイオリン)
10月12日~17日	運営ワークショップ「レセプショニスト講座」講師／せんがわ劇場専門嘱託員
10月18日~11月12日	せんがわシアター121vol.2「紙屋悦子の青春」作／松田正隆、演出／趙光照文
10月19日	ファミリー11「育児ばど＆まつに贈る赤ちゃんと一緒にコンサート」桐朋学園大学学生
10月20日	SMCPlus+4 弦の巧 小森谷巧(ヴァイオリン)、横山美里(ピアノ)
11月3日	SMC115 ピアノデュオコンサート 濑尾久仁&加藤真一郎(ピアノデュオ)
11月29日~12月8日	第1回新進芸術家育成公演「彼女の素肌」作／レベッカ・レンカヴィツ、訳／常田景子、演出／西川信廣
12月8日	SMC116 世界の楽器(アリッシュ・ハープ) 寺本圭佑
12月10日~12日	地域連携事業 幻燈船ライブパロワさん 今晚は「よだかの星」、リーディング公演「恋のサプライズ2第1幕」主催／白百合女子大学
12月21日~23日	親と子のクリスマス・メルヘン「青い鳥」原作／モーリス・メテルリンク、構成・共同演出／柏木俊彦、上演台本・共同演出／鈴木アツト
12月22日	SMC117 クリスマス・コンサート ハンドベルアンサンブル・ミスティ(ハンドベル)

平成26年	
1月5日	SMCPlus+5 ニューイヤーコンサート 奥村愛(ヴァイオリン)、丹千尋(ピアノ)
1月18日	第2回せんがわピアノオーディション受賞コンサート 「金悠里ピアノリサイタル」 「田中優子ピアノリサイタル」
1月19日	SMC118 未来のホープ 猎狩雄斗(ピアノ)
1月19日	ファミリー12「楽器体験サークル＆ミニコンサート」協力：桐朋学園大学(打楽器専攻)ほか
1月24日~26日	地域連携事業「真田風雲録」主催／桐朋学園芸術短期大学
1月31日~3月1日	伝統芸能ワークショップ「おらは亭せんがわ落語入門」講師／調布斬の会、協力／鈴々舎風車 ほか
2月2日	SMC119 世界の楽器(クロマティック・ハーモニカ) 山下伶(クロマティック・ハーモニカ)、島田賢(クラシック・ギター)
2月8日~11日	第3回市民参加演劇公演 歌舞戯史「わが町、せんがわ～おらはの時代～」作・演出／未永明彦
2月16日	SMC120 ヴァレンタイン・コンサート 井上静香(ヴァイオリン)、丹藤麻砂美(ソプラノ)、鷹羽弘晃(ピアノ)
2月22日~23日	人形演劇公演 百鬼ゆめひな「猫姫ぐづ舞・化身」
3月1日	「おらは亭せんがわ落語会」 「おらは亭せんがわ落語会」 第1部・市民落語大会<第2部>家族で楽しむプロの寄席出演／柳家さん、柳家小せん、柳々舎風車ほか
3月2日	SMC121 未来のホープ 永易理恵(ピアノ)
3月2日	SMCPlus+6 トリオの世界へようこそ 磐絃里子(ヴァイオリン)、長谷部一郎(チエロ)、高橋多佳子(ピアノ)
3月3日~9日	第4回演劇コンクールグランプリ・オーディエンス賞受賞公演「終りよければすべてよし～ハッピーエンドの見つけ方～」主催／THEATRE MOMENTS
3月16日	SMC122「歌の花束」東京室内歌劇場スペシャルヴィークルinせんがわ劇場 大貫裕子(ソプラノ)、北澤幸(メゾ・ソプラノ)、小林彰英(テノール)ほか
4月27日	SMC123春のスタートコンサート BRASS117(金管五重奏)
5月11日	SMC124世界の楽器(アルバ) 池山由香(アルバ&歌)
5月21日~7月2日	市民参加演劇ワークショップ(1)朗読「向田邦子 愛のカタチ」講師／未永明彦
5月24日	ファミリー13「子どものための演奏会入門 オペラ入門編」坂本明佳(ソプラノ)、宮澤那名子(ソプラノ)、櫻井葉子(ソoprano)、大橋正明(テノール)ほか
5月25日	SMC125 オーボエの世界 蟻崎耕三(オーボエ)、三輪郁(ピアノ)
6月8日	SMC126 未来のホープ 渡邊茜(ギター)
6月14日~7月1日	せんがわシアター121vol.3!「庭にはニワトリニワトリにワニ」「キニサクハナノナ」作／小川未玲、演出／志賀廣太郎
6月29日	SMC127 泉に、野原に、イタリア・17世紀初頭の音楽 井上由紀(ソプラノ)、古橋潤一(リコーダー)、能登伊津子(ルネサンス・ハープ・オルガン)ほか
7月12日~13日	第5回せんがわ劇場演劇コンクール
7月16日~11月3日	市民参加演劇ワークショップ (2)演技「自画像」講師／未永明彦 ほか
7月27日	SMC128 世界の楽器(沖縄音楽・三線) 真田弥生(唄三線)、篠田正人(烏太鼓)
8月1日~3日	地域連携事業 おらはせんがわ夏まつりinせんがわ劇場「せんがわ劇場夏の文化祭！」主催／仙川商店街協同組合
8月4日~9日	夏休み子ども表現ワークショップ「シャル・ウイ・ダンス？シャレ・言う・ダンス！」講師／スズキ拓朗
8月10日	SMC129 夏休み企画竹の音楽を聴く 東京楽竹団(竹楽器)
8月24日	第3回せんがわピアノオーディション
9月6日~7日	JAZZARTせんがわ2014(第7回)

9月7日	SMC130 in JAZZ ART せんがわ 卷上公一(超歌唱家)
9月20日~11月3日	市民参加演劇ワークショップ(3)身体表現と形、和の心講師／出雲裕(地鳴隣) (4)舞台技術「さえする手、みまる目、つながる心」講師／健定己(園明)、宮川正光(音響)、寺田真理(舞台美術)、退治(舞台)ほか (5)伝統劇「ボスター・パンフレティ」とおでなし講師／原子高之(伝説)、せんがわ劇場専門嘱託員(制作)
9月21日	SMC131 チェンバロの世界 大塚直哉
10月5日	SMC132 弦楽四重奏 城所素雅(ヴァイオリン)、金子昌憲(ヴァイオリン)、正田響子(ヴァイオリン)、野村杏奈(チェロ)
11月2日	SMC133 未来のホープ 金子展寛(算)
11月2日~3日	「わが町、せんがわ」市民演劇祭!市民参加演劇ワークショップ合同成果発表会
11月7日~10日	地域連携事業 音楽劇「龍虎太郎物語」+アフターコンサート
11月10日~11月12日	伝統芸能ワークショップ「おらは亭せんがわ落語会」講師／柳家三語楼、調布斬の会
11月27日~28日	地域連携事業 幻燈船繪本ライブ「ギャバンじいさん」朗誦「雨ニモマケズ」 アニメ公演「リリーズのほんわか手作りアニメ劇場」リーディング公演「奴隸の島」主催／白百合女子大学
11月30日	SMC134 ヴァイオリンコンサート 野口千代光(ヴァイオリン)、加納麻衣子(ピアノ)
11月30日	SMCPlus+7 フルート・コンサート ヴァンサン・リュカ(フルート)、東井美佳(ピアノ)
12月4日~7日	せんがわシアター121vol.4「紙屋悦子の青春」作／松田正隆、演出／趙光照文
12月18日~22日	親と子のクリスマス・メルヘン「青い鳥」原作／オスカー・ワイルド、構成・演出／佐川大輔
12月21日	SMC135 クラリネットアソブサンブル 亀井良信(クラリネット)、クラリネットアソブサンブル C!Action(桐朋学園大学クラリネット専攻)

9月	植木稚花、田代晶子、桑原通
平成28年	
1月9日	ご近所映画館in仙川「雄呂血」主催／調布市文化・コミュニティ振興財団
1月16日	「おらは亭せんがわ落語会」<第1部>市民落語大会<第2部>家族で楽しめるプロの寄席 出演／柳家小さん、柳家三語楼ほか
1月17日	SMC153 新春芸術対談 梅津時比古(お話)、趙光照文(お話)、五十嵐薰子(ピアノ)
1月28日~31日	地域連携事業「新・姫様たちの魔鏡」朗読劇「ビーター・パン」+アフターコンサート「調布市文化・コミュニティ振興財団」
2月5日	ご近所映画館in仙川「浮草物語」主催／調布市文化・コミュニティ振興財団
2月7日	SMC154 アコードイング＆ピアノ 大田智美(アコードイング)、長見摩耶(ピアノ)
2月7日	SMCplus+11 亀井良信(クラリネット)、廣瀬かすみ(ピアノ)
2月17日~21日	せんがわシアター121vol.7「黄昏の光芒～ドン・キホーテへのオマージュ～」 台本／柴田千絵、演出／菊地准
2月21日	SMC155 気軽に愉しむ、日本の琵琶 梶本百香(鶴田流琵琶)、川俣夜山(尺八)
3月6日	SMC156 東京室内歌劇場「ボーラン」(メゾ・ソプラノ)、杉野正隆(バリトン)ほか
3月10日~13日	第6回演劇コンクールグランプリ受賞公演「じゅんすいなカタチ」主催／ドキドキぼーいず
3月24日~25日	第6回演劇コンクールオーディエンス賞受賞公演 野外パフォーマンス「翼をください、マジで」主催／劇団しようよ
3月27日	SMC157 ヴァイオリンコンサート 井上静香(ヴァイオリン)、曾我彩子(ピアノ)
4月24日	SMC158 未来のホープ 香月麗(チエロ)、諸田由里子(ピアノ)
5月9日	ファミリー17「子どものための演奏会」合田香(お話)、桐朋学園大学学生(演奏)
5月15日	SMC159 サクソフォン四重奏團OXAS(オクサス) (早瀬圭一、松澤佐希子、村田貴洋、由井平太)
5月29日	SMC160 世界の楽器(三味線)～江戸の流行り唄 柳家小春(三味線・唄)
6月2日~7月24日	市民舞台芸術学校演劇入門講座(前期) (1)朗誦「語ら大見えるコト」 演講／スズキ拓朗
6月8日~12日	せんがわシアター121vol.8～唄とピアノ～お芝居と～「庭には二つトリ二羽に二つ」キニサクハナナ」作／小川未玲、演出／志賀廣太郎
6月12日	SMC161 ソプラノ＆バリトンデュエットざまい！ 末吉朋子(ソプラノ)、和田ひでき(バリトン)、久保晃子(ピアノ)
6月26日	SMC162 未来のホープ 五十嵐薰子(ピアノ)
6月26日	SMCplus+11 ピアノデュオコンサート DuoGrace高橋多佳子＆宮谷佳住
7月9日~10日	第7回せんがわ劇場演劇コンクール
7月24日	SMC163 世界の楽器(アラヴ音楽～ウード) 常味裕司(ウード)
8月7日	SMC164 サマーコンサート(歌+ギター+ケーネ) いよ、きよ、やぎりんバンド♪
8月28日	第5回せんがわピアノオーディション
9月7日~10月29日	市民舞台芸術学校演劇入門講座(後期)「まるごとシェイクスピア！」 (1)演技「はじめて☆シェイクスピア～シェイクスピア～遊ぶ～」講師／佐川大輔 (2)伝統芸能「狂言☆シェイクスピア」講師／善竹十郎 (3)企画運営・広報デザイン「はじめて☆事業企画」講師／間瀬勝一、原子尚之
9月16日~18日	JAZZ ARTせんがわ2016(第9回)
9月18日	SMC165 in JAZZ ART せんがわ 体験！「微分音」のふしが世界 冷水ひとみ
9月25日	SMC166 モーツアルト・レクチャー 始まりと終わりのモーツアルト 安田和信(音楽学)、黒沼香恋(ピアノ)
10月4日~1月9日	伝統芸能ワークショップ「おらは亭せんがわ落語会」講師／柳家三語楼、調布斬の会
10月16日	SMC167 リコーダー四重奏 浅井愛、中津川茉莉、深井瑛理、宮里安矢
10月30日	SMC168 爭アンサンブル 花岡操穂、吉葉景子、金子展寛
11月24~25日	地域連携事業 白百合おたのしみ劇場&リーディング公演「コロニー」主催／白百合女子大学
11月26日	ファミリー18「親子で聴こう～歌おう日本のうた・童謡コンサート」松井康司(お話)、鈴木彩水(ソプラノ)、森川史(ソプラノ)、紀野洋子(テノール)ほか
11月27日	SMC169 コントラバス・ケインテットDBB(下川朗、瀬戸慎之介、森田麻友美、安田文、牛島みづき)
12月11日	SMC170 アルゼンチン・タンゴ 会田桃子(ヴァイオリン・作曲・歌)、鈴木崇朗(バンドネオン)、松永裕平(ピアノ)
12月20日~25日	せんがわシアター121vol.9 親と子のクリスマス・メルヘン「くるみ割り人形」原作／E.T.A.ホフマン、台本／村田裕子、演出／趙光照文
12月25日	SMC171 クリスマス・ゴスペル・コンサート Eyes(ゴスペル)、名手久詞(ピアノ)

1月8日	SMC172 大切な人に届けたい詩 森川史(ソプラノ)、首原洋平(バリトン)、中國宏実(ピアノ)、伊藤栄乃(作曲)ほか





<tbl\_r cells="2" ix="5" maxcspan="1" maxrspan="1" usedcols

刊行物番号 2018-138  
調布市せんがわ劇場開館10周年記念誌

---

発行日 平成30年10月  
発 行 調布市  
編 集 調布市せんがわ劇場  
〒182-0002 調布市仙川町1-21-5  
電話 03-3300-0611